

令和 4 年 3 月 3 0 日

宮城県高等学校野球連盟

### 1. 開催中止の判断

- ① 宮城県教育委員会や仙台市教育委員会から、部活動の大会自粛の指示が出た場合は中止とする。
- ② 大会前、大会中に関係者から感染者が発生した場合は、日本高野連が策定した対応表に沿って、次の通りとする。

	感染者が発生した場合の対応	濃厚接触者（家族や職場などで感染者が出た）となった場合の対応
大会役員 審判委員	感染者以外の大会役員、審判委員が感染者とどのような接触歴があったかを確認する。保健所から濃厚接触者の指定を受けた場合は保健所の指示に従う。その間は別の大会役員、審判委員が運営にあたる。	当該者は保健所の指示に従い行動する。その後、保健所の指示に従い検査を実施し陰性が確認され、体調不良や高熱などの症状が出なかった場合は復帰可とする（経過観察期間など十分に確認する）。
指導者 部員	当該校は保健所から陽性者以外の濃厚接触者の特定や今後の行動に関する指示を行う。当該校は感染者、濃厚接触者以外の行動を参考にチーム内の体調不良者がいないかを確認した上で大会参加を判断する。大会参加については当該校の意向を踏まえ、運営委員会で決定する。	当該者は保健所の指示に従い行動する。当該校はそれ以外の指導者、部員で試合参加を検討する。当該者は保健所の指示に従い検査を実施し、その後体調不良や高熱などの症状が出なかった場合は試合参加可とする。

### 2. 参加者・来場者の健康管理

- ① 検温と健康観察を継続して行うこと。また 2 週間前からの行動歴（いつ、どこに行き、誰と会ったか）を記録しておく（様式 B）。ただし、**新生徒については、入部後の記録のみでよい。**
- ② 大会参加について、**18 歳未満の生徒については**保護者の同意を得てから「証明書」と「選手資格証明書」を作成し、同意の得られない生徒は大会には参加・引率しない。
- ③ 「証明書」と「選手資格証明書」は地区大会と県大会それぞれに作成することとする。
- ④ 大会 2 週間前より、高熱が発生した選手がいた場合は、練習に参加させず医療機関での受診を勧める等の措置をとる。
- ⑤ 厚生労働省が開発した新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」の登録を推奨する。
- ⑥ 有観客試合とした場合は、来場者に氏名・連絡先の記入をお願いし、体温の報告や体温検査実施の協力をいただく。検温の結果、37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りする。

### 3. 地区大会と県大会出場校数

- ① 敗者復活戦を取り入れたトーナメント戦で地区大会を実施する。地区大会の抽選会は地区毎に実施し、抽選者は学校の顧問とする。
- ② ドント方式を用いて、28 校を県大会出場校数として各地区に割り当てるが、これが 27 校となった場合は抽選により地区に 1 校を加える。

- ③ 春の地区大会ではシード制を採用する。シード校と校数は各地区で決定する。
- ④ 「証明書（1通）」と「選手資格証明書（2通）」は、大会初戦の会場に提出する。選手変更を行う場合は、所定の「大会参加者変更届」を本部に提出する。連戦となり、公印がいただけない場合もあるため、地区大会では公印なしでも変更届は認めるものとする。一度変更した選手を、再登録する場合にも同様の方法で行うものとするが、その際は最初に登録した背番号にのみ再登録することができる。
- ⑤ コロナ感染予防のため、2試合開催の場合は10時と12時45分、3試合開催の場合は9時、11時45分、14時30分とする。前の試合が早く試合終了しても、試合開始予定時刻の20分以上早めず、試合間は必ず45分程度間隔をとって行う。2・3試合目のベンチ入りはベンチ消毒完了後とする。また試合前の立ち会いの時間は、第1試合は試合開始予定時刻の30分前、2試合目以降は試合開始予定時刻の1時間前とする。

#### 4. 県大会抽選会

- ① 県大会の抽選会は5月9日（月）仙台工業高校で行い、抽選者は主将または顧問とする。
- ② 地区第1代表は1回戦不戦とし、同地区第2代表とは決勝戦まで当たらないものとする。また各地区第1、第2代表は1・2回戦では当たらないものとする。
- ③ 抽選は第1代表、第2代表の順で抽選を行い、それ以外のチームは1回戦の残りの番号をフリーで抽選する。
- ④ 試合時間並びに試合前の立ち会いの時間は地区大会に準じる。
- ⑤ 「証明書（1通）」と「選手資格証明書（1通）」は5月9日（月）の組み合わせ抽選会の受付に提出する。選手変更は大会前日の5月13日（金）の12時必着（宮城県高野連宛にメール送信）まで認め、その後の変更は認めない。選手変更届の原本は出場初日に試合球場に提出するものとする。
- ⑥ 大会中の練習試合は認めないが、敗戦後はこの限りではない。

#### 5. 選手の移動・宿泊・試合観戦等

- ① 送迎バスを利用する場合は、除菌や換気を行い、座席間隔を空けて着席するなど感染防止対策を講じる。公共交通機関を利用する場合は、混み合う時間帯をなるべく避けるように注意する。
- ② やむを得ず宿泊を伴う場合は、個室や食事の個別提供が可能な宿泊場所とし、宮城県高野連宛に事前に連絡する。また、不要不急の外出は自粛してもらう。
- ③ 移動中や試合会場で食事をする場合は、人と人との間隔（できるだけ2m最低1m）を空け、対面になることを避けるように努める。
- ④ 昼食をとるためにスタンド等を利用しても構わないが、試合観戦やビデオ撮影を目的に球場内に入ることは、感染予防の観点から禁止する。

#### 6. 試合

- ① チーム関係者は起床後検温、体調チェックを行い、その結果を責任教師は検温確認表（様式A）に記載した上、メンバー表交換時に大会役員に提出する。起床後あるいは球場入場時に37.5℃以上の発熱や体調不良（倦怠感、呼吸困難など）が発生した場合は、球場への来場、入場することを禁止し、速やかに医療機関を受診する。その場合、責任教師は速やかに大会本部まで連絡する。
- ② チーム毎にマスク着用を励行し、手指消毒を行う等の感染予防に努める。
- ③ 道具についても試合前後の除菌消毒を徹底する。なお、ヘルメットに関してはSGマークのついた

破損していないものであれば、多少の違いを認める。

- ④ 飲料水やタオル等は個人専用とする。クーラーボックスをベンチ内に持ち込むことは許可するが、ジャグをベンチに持ち込むことを禁止する。
- ⑤ ウォーミングアップ時、選手のマスク着用は義務づけない。ただ、球場外でウォーミングアップをする場合、観客近くで行うこともあるため、マスク着用をすることが望ましい。
- ⑥ 試合中、ダッグアウト内の責任教師、監督、選手、記録員、ボールボーイは熱中症対策を十分に講じてマスクを着用すること。グラウンドで試合に出場している選手はマスクの着用は義務付けない（ベースコーチを含む）。
- ⑦ 円陣を組んでの大きな声をあげる行為を禁止する。タイムをかけて話し合う場面では、グラブで口を覆ったり、対面で話すことがないように工夫する。また、ハイタッチ等の接触を伴う行為は自粛する。
- ⑧ 試合後の校歌斉唱は適度な間隔を保った上で行う。
- ⑨ 試合前後の挨拶は、発声を自粛し一礼のみとする。
- ⑩ シートロック後と5回終了時並びに試合後のグラウンド整備は当該校で行う。
- ⑪ 試合後は、ベンチ内の除菌作業を責任教師同席のもと当該校で行う。
- ⑫ 審判が4人制でない場合もある。

## 7. 応援・観戦

- ① 地区予選は無観客試合とし、抽選後の時間や会場については公表しない。来場できるのは、加盟登録された選手（3年生を含む）、マネージャー、指導者、部員の家族とする。チーム関係者からは試合毎に来場者の検温記録を残した「入場申請書」を、試合終了後に責任教師を通じて提出する。入場者は検温と手指消毒を徹底し、PASSカードをぶら下げて球場に入場する。ただし、宮城県教育委員会や仙台市教育委員会から、部活動の自粛の指示が出た場合は完全無観客試合とする。
- ② 県大会では、入場者からの（1）個人情報（氏名・住所・電話番号）の提供、または（2）新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」の登録、を確認し、検温・手指消毒を行った上で、入場料（大人700円、シニア300円）をいただいて入場を許可する。ただし、仙台市民球場（5,000人）、石巻市民球場（内野700人、外野2300人）、鹿島台中央野球場（内野300人、外野1000人）、蔵王球場（500人）の入場制限を設ける。提供された個人情報は感染が確認された場合の、追跡調査のみに使用する。ただし、今後の感染状況によっては無観客試合となることもあり得る。
- ③ 次に該当する方の球場への入場を禁止する。

- (1) 球場入場時、検温の結果37.5℃以上の発熱が認められた方。
- (2) マスク非着用の方。
- (3) 過去1週間以内に ①強い倦怠感②喉、咽頭痛、息苦しさ③味覚・嗅覚以上などの異変を感じた方。または同症状の方が家族にいる方。
- (4) PCR検査で陽性歴があり、次の①～④に該当する方。
  - ① 有症状者では、発症日から10日未満でかつ症状軽快後72時間以内。
  - ② 症状軽快後24時間経過から24時間以上の間隔を空け2回のPCR検査で陰性を確認できていない。
  - ③ 無症状病原体保有者では、陰性確認から10日未満。
  - ④ 検体採取日から6日間経過後、24時間以上の間隔をあけ2回のPCR検査で陰性を確認できていない。
- (5) 濃厚接触者として自宅待機中の方。

(6) 家族が濃厚接触者として自宅療養中の方。

(7) 海外から帰国（日本に入国）して14日以内の方。

- ④ 入場者は、スタンドで両手が届かない間隔を空けて試合を観戦する。声を出しての応援は自粛し、拍手やメガホンをたたく行為のみとする。ハイタッチや座席の上に立ったり、一カ所に集まる行為、タオルを回す行為がないように事前告知を行う。
- ⑤ チームとして太鼓1個の持ち込みを許容する（球場によっては禁止されていることもある）。
- ⑥ 県大会では応援リーダー、チアリーダーについても入場も可とするが、ソーシャルディスタンスをとることや大声を発しないなど、上記④に準じた応援の体制をとる。
- ⑦ ブラスバンドによる応援は日本高野連が定める「ブラスバンド入場に関するガイドライン」を遵守することを条件に準決勝以降認めず。録音された音源を用いての応援は認めない。
- ⑧ 学校観戦は学校長の責任の下で認めるが、上限を300人とする。学校生徒は指定された場所においてのみ観戦ができるものとする。学校観戦を希望する場合は、引率責任者を指定し、最低でも前日までに責任教師を通じて大会本部に連絡を入れることとする。引率責任者は当日の学校応援者名簿（様式C）を入場前に大会本部に提出する。

## 8. 報道への対応

- ① 報道各社には、1社1球場あたりの取材者人数を限定し、報道受付で入場申請書を記入した後は、原則スタンドで取材を行う。大会本部には報道席を設けない。
- ② 試合前の選手や監督への取材は禁止する。また、試合後の取材については、各チーム監督1名と選手2名以内の指名を大会本部で取りまとめ、監督5分選手5分で行う。
- ③ 大会前の参加校への取材については原則禁止する。取材の必要がある場合は、責任教師を通じて各学校長の許可を得たのち実施する。

## 9. 大会運営

- ① 地区予選も含め無観客試合ではボール3球とロジン1袋を各校で持ち寄ることとする。県大会では大会本部で準備するが、コロナ感染が再拡大し、無観客試合となった場合はこの限りではない。
- ② 運営委員も事前に検温を済ませ、手指消毒を徹底する。大会本部は密集を避ける工夫を施し、パソコンやアナウンスマイク等は使用者が代わる度に消毒する。
- ③ 運営委員は感染予防のため、マスクや手袋を着用して大会運営に従事する。
- ④ 場内アナウンスやSBOに関しては、両校のマネージャーの協力が得られない場合は運営委員が行う。運営委員不足により場内アナウンスがない場合もある。
- ⑤ 県大会より「一球速報」を導入する。運営委員不足の場合は、イニング速報を行う。
- ⑥ **県大会では**選手の健康管理のため、球数制限の運用を行う。試合前に投球実績表を責任教師に配付し、球数を確認し、1週間内に500球を越えないように選手の健康管理に努める。準決勝以降は登板した投手全員を対象に関節機能検査を実施する。
- ⑦ 県大会中、本部に看護師を常駐させるよう努める。来場者の中に発熱や体調不良など感染が疑われる人が出た場合は検温を行い、疑いがあるようであれば保健所の電話相談窓口連絡して指示を受ける。
- ⑧ 審判員も事前に検温を済ませ、手指消毒を徹底する。審判員への給水は審判団に依頼する。感染予防のため、タオル提供は行わない。
- ⑨ 少年野球の始球式は実施しない。

## 10. 感染者が発生した場合の対応

- ① 大会前、大会中に大会関係者、チーム関係者から感染者や濃厚接触者が発生した場合は、1の「大会前、大会中に関係者から感染者が発生した場の対応について」を参考に対応する。
- ② 大会を終えた後、14日間以内に部員が新型コロナウイルスに感染した場合は、速やかに宮城県高等学校野球連盟に書面にて報告する。
- ③ 球場で観戦後、14日以内に一般入場者や学校応援者が感染者となった場合、大会中であれば大会本部、大会後であれば宮城県高野連事務局（仙台工業高校）まで連絡してもらう。
- ④ ③となった場合、試合会場となる球場とも情報共有し、保健所の指示に従いホームページで感染者発生の情報発信や観戦した観客への連絡等取るべき措置をとる。

## 11. 参加校の大会参加可否の判断基準

- ① 大会中、参加校から感染者ならびに感染の疑われる者（濃厚接触者）が判明した場合、参加校責任教師から情報収集（感染者数、行動歴、保健所の指示内容）に努める。
- ② 当該校は感染者、感染が疑われる者の人数や行動歴、保健所の指示を踏まえ、当該校校長が参加の可否を判断する。
- ③ 大会への参加を辞退する場合は、「大会参加辞退」が学校長判断のもと確定しだい、責任教師が理事長に電話連絡を行う。その後、「大会参加辞退届」を宮城県高等学校野球連盟（仙台工業高校佐藤事務局長宛）に郵送により提出する。
  - ・ 文書作成期日は電話連絡を行った日時とする。
  - ・ 学校長の押印を必要とする。
  - ・ 辞退理由は「大会参加規程によるもの」とする（詳細は必要なし）。
- ④ 主催者は参加校校長の判断を尊重し対応する。しかし、当該校の感染状況（部内での集団感染や集団感染が予見されるなど）によっては運営委員会を開き、出場を差し止めることもある。
- ⑤ なお、参加校から感染者や感染が疑われる者が発生した場合、大会日程・組み合わせ表は原則として変更しない。ただし、日程を繰り下げることによって当該校の大会出場が可能な場合は、臨時の運営委員会を開き日程を検討することもあり得る。その場合、同一回戦の日程で日程変更を検討することを原則とする。
- ⑥ 連合チームの申請後の、不祥事や参加辞退届による選手不足は再連合を認めず、関係校はすべて不戦敗とする。